

# 公開講座 『インターフェロンの基礎と治療の実際』

NPO法人インターフェロン・ハーブ研究所 全国肝臓病患者連合会 共催

## 各 位

拝啓 新春の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび日頃よりお付合いをいただいております全国肝臓病患者連合会の水野会長様より、勉強会のご依頼をいただき、共催にて公開講座を開催する運びとなりました。

全国に200万人いるとされるC型肝炎患者の方々に対し、身近な薬剤インターフェロンの基礎情報を提供することは、非常に重要な我々の役目の一つです。また、今回は実際の治療にどう応用され、その効果や副作用、新しい治療方法などを実際に治療を行なっている吉田クリニック院長、吉田健太郎先生にご講演いただきます。つきましては、下記のとおり公開講座を開催いたします。本講座が肝炎の患者様のお役に立つことを祈念し、また会員の皆様にもお役に立つことができれば幸いです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

敬具

理事長 丸山秀之

## 記



日 時：平成21年3月7日(土) 午後1時30分～午後4時30分 (受付開始：1:00～)

場 所：新宿NSビル3F 北ブロック312 (新宿区西新宿2-4-1 : JR新宿駅南口より徒歩5分)

参加費： 会員1500円 非会員2000円 全国肝臓病患者連合会関係者 無料

定 員：50名

## 講師プロフィール

小島保彦 M.D.	吉田健太郎 M.D.
 <p>NPOインターフェロン・ハーブ研究所 所長 医学博士 専攻：ウイルス学</p> <p>東京大学伝染病研究所(現：医科研)、北里研究所研究部部長、山之内製薬顧問等歴任。1954年、長野 &amp; 小島の連名で世界に先駆けてインターフェロンを発見したとして著名。また漢方生薬によるインターフェロン・インデューサーも世界で初めて発見。世界特許30編取得、論文百数十編。</p>	 <p>吉田クリニック 院長 日本胎盤臨床研究会 理事長</p> <p>西洋医学を基礎におきつつも東洋医学や運動療法、温泉療法などを積極的に取り入れ、体にやさしい治療、形式にとらわれない治療に取り組む。健康の要は「食」であることに着目して、農業、畜産、健康食品に興味をもち、研究・調査している。</p>

## 公開講座プログラム

13:30～	開会のご挨拶
	丸山秀之 (インターフェロン・ハーブ研究所 理事長)
	水野正憲 (全国肝臓病患者連合会 会長)
13:35～	基調講演 (インターフェロンの基礎知識。自然免疫の役割とウイルス病の対策について～)
(90分)	小島保彦 (インターフェロン・ハーブ研究所 所長 ・ 医学博士)
15:05～	質疑応答
(10分)	
15:15～	休憩
15:30～	講 演(インターフェロン治療の実際 ～演題変更の可能性があります～)
(50分)	吉田健太郎 (吉田クリニック院長、日本胎盤臨床研究会 理事長)
16:20～	質疑応答
16:30	閉会の辞

-----  
下記にご記入し、このままFAXにてお申込み下さいませ。 FAX:042-532-6152 もしくは042-532-5920

参 加 申 込 書			
講演会に	参加	不参加	で囲んでください
ご芳名			会社名
ご住所			
お電話			FAX
お問合せ先： 特定非営利活動法人インターフェロン・ハーブ研究所 電話042-532-6150 FAX:042-532-6152			